

羽生市立羽生南小学校

理科

単元名 「振り子の運動」 第5学年

授業の様子

本時の目標〈思考力・判断力・表現力等〉
振り子の運動について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決することができる。

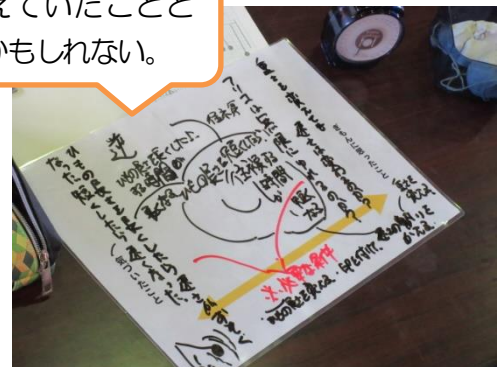
曲のテンポに合わせるためには
どうすればいいかな？

重い方が1往復する時間が
長くなるかも。



考えていたことと
逆かもしれない。

振り子の長さを短くした方が、
速い曲のテンポに合いそう。



探究できる問題を、児童が実験から見出す場面

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

- 理科の研究授業では実験の結果をまとめる場面が多かったので、今回初めて児童に問題を設定させる授業を見ました。
- 問題を見出す授業は初めてで、すごく勉強になりました。早速、明日から意識したいです。
- 問題を見出すことを大切にしていくことで、児童の力が高まっていくのが実感できました。
- 自分自身が問題づくりの授業について自信がなかったので、今回の授業を見て勉強になる部分が多くありました。
- 問いの立て方について、とても勉強になりました。児童の興味の引き方が分かれば、教師自身も楽しんで授業を行えると感じました。
- 授業における技術はもちろん、その授業に至るまでの研究や仮説などが素晴らしかったです。
- 導入の仕方や問題の見だし方が勉強になりました。また、どのような課題を設定するべきなのか理解できました。

○児童に気付かせることの大切さを再確認することができました。

○条件設定や問題をつくる場面を実際に見て、具体的な方法を学ぶことができました。

【研究協議について】

『私の授業の観てほしいポイント』

- ①教師の発問は児童の問題を見いだす力を育成するのに有効であったか。
- ②導入教材の工夫によって、児童の問題を見いだす力を育成することができたか。
- ③実証性に着目した話し合い活動は、児童の問題を見いだす力の育成につながったか。



○理科について学ぼうとする意識が高い先生方と協議ができ、「なるほど」「それはいい」という意見を聞くことができました。

○話し合いの中で意見が深まり、新たな気づきを自分自身もすることができ、大変有意義でした。

○理科好きな子供を増やすために頑張っていこうと思いました。

○ワークショップ型で、様々な先生の御意見を聞くことができ、参考になりました。

○自分だけでは気付けない視点や、他の先生方の意見から参考になることが多かったです。

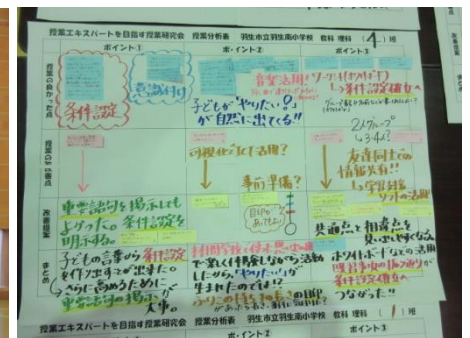
○様々な先生方の考えや実践を聞かせていただき、吸収することができました。

○他の先生方との協議は、多くの発見があり、より学びが深まりました。様々な角度から授業を見ることで、自分では気付けないところに気付くことができました。

○他の先生方や指導者の話の中に、すぐにでも授業に生かせることが多くありました。

○実証性、再現性、客観性の大切さが分かりました。協議では様々な意見が出たので参考にしていきたいです。

○私はまだ1年目で視野が狭いため、教材や発問、話し合いについて様々な意見に触れることができ、視野を広げることができました。



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議

指導者から

○児童に「問題を見いだそう」と問うと、「なぜ、どうして」というフレーズが多く出てくる。しかし、そのまま学級全体の問題として設定すると、実験や観察で実証することが困難になることがある。今回の授業では、児童の「なぜ、どうして」から調べたいことに着目しつつ、問題を科学的に解決するよさを計画的に指導し、実証可能な問題設定へとつなげていた。

○実証性とは、考えられた仮説が観察、実験などによって検討できることであり、児童がこの科学的な考えを獲得するためには、主体的で対話的な学びが欠かせない。